

職業奉仕委員会

職業奉仕委員会 委員長 小高 章 (川越 RC)



【職業奉仕の概念】(Vocational Service)

職業奉仕は、「ロータリーの目的」の第2項を土台として、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- ・ 職業上の高い倫理基準
- ・ 役立つ仕事はすべて価値あるものとする認識
- ・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

高潔性と倫理

ロータリーでは、高潔性と高い倫理を重視しています。その中でロータリアンによって生みだされたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の2つであり、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

職場で高い倫理基準を推進するために

事業や専門職務のリーダーであるロータリアンは、職場や地域社会において模範を示し、高い倫理基準を推進することのできる立場にあります。ロータリアンは、次のような方法で倫理を実践し、奨励できます。

- ・ 従業員の雇用、研修、指導において、誠意、責任、公平さ、尊重について説明し、その重要性を強調する。
- ・ 仕事仲間による模範的な行動を称え、奨励する。
- ・ 顧客、業者、仕事関係者と接する際は、高い倫理基準を遂行し、思いやりと熟慮をもって行動する。
- ・ ビジネスや組織において、社会的・環境的に責任ある慣行を推進する。

スキルと職業

職業とそのスキルの重要性を認識するロータリーには、多様な職業や経験をもつ会員がおり、地域社会のさまざまな職業、ビジネス、団体とのつながりを生かした活動が実践されています。会員には、職業スキルを奉仕に生かし、自らの職業をクラブで代表するとともに、職場においてもロータリーの理念を実践する責務があります。

職業研修と職業スキルの向上

職業人同士の交流を目的として設立されたロータリーでは、より良い地域社会を築くために、職業やビジネスにおけるリーダーが力を合わせ、アイデアを交換し、協力関係を築くことの重要性を強調しています。ロータリー会員は、職業に関するスキル研修とサポートを人びとに提供することを通じて、自らの職業スキルの向上にも努めています。

RI「職業奉仕の手引き:実践しよう」255-JA-(1017)より抜粋

【活動方針】

2024-25 年度 五十幡ガバナーは、5 大地区活動方針の 4 項に「ロータリーの目的、四つのテスト、公式標語、行動規範、中核的価値観、行動計画(指針)に基づくロータリーの理念と取り組みの再確認」を掲げています。このことを踏まえて職業奉仕委員会は、「職業奉仕」に理解を深めていただくとともに、この 4 項を地区内の各クラブとクラブ会員に推進し実践に向けての支援を行って参ります。その結果、魅力ある、そして活力のあるクラブにさせていただきたく思います。

【具体的事項】（各クラブへの推奨事項）

1. 「職業奉仕ラーニングツール」を各クラブでの研修、委員会での勉強資料、卓話に活用
いただき、特に入会 3 年未満の会員等の研修を実施していただきたい。
* 「職業奉仕ラーニングツール」（職業奉仕入門、職業奉仕とは、ロータリーの職業奉仕知っておきたい四大用語）全 3 シリーズを 2570 地区 HP の職業奉仕委員会に掲載してありますので、ダウンロードしてください。2024-25 年度改訂版を予定しております。
2. 各クラブで「四つのテスト」の唱和と、それぞれの職場に掲示いただき実践することを推奨する。
3. 会長幹事会、IM 等で「職業奉仕」への取り組み(実践)に関する情報交換の場を設ける。